

【提案項目】

19 東広島市次世代学園都市構想の推進について

【提案要旨】県全体の発展に資する取組の県・市一体となった推進及び東広島市次世代学園都市構想の取組みへの支援

■提案事項

- 県全体の発展に資する取組みを県・市一体となって推進すること
- 東広島市次世代学園都市構想の実現に向けた新たなまちづくりへの取組みを支援すること

東広島市次世代学園都市構想は、東広島市と広島大学がまちづくりのビジョンを共有する中、民間企業も巻き込んだ共創による取組みとして、令和4年度から着手している。一方、半導体産業の大型投資を背景として、高度人材の更なる流入が見込まれており、これまでの構想からのエリア拡大や新たな道路網の構築など、新たに検討を要する課題が生じている。

こうした共創による取組みは、地方創生の先導モデル的なものであり、県全体の産業振興、地域発展に資するものであることから、広島県からの企画段階からの参画や制度面での弾力的な対応、国からの財政的な支援が必要である。

【提案先：内閣府・広島県】

東広島市の現状と課題・取組状況

○本市は、賀茂学園都市建設、広島中央テクノポリス建設という2大プロジェクトを柱としたまちづくりにより、一貫して人口の増加を続けるなど、着実な発展を遂げてきたが、発展の踊り場にある。そのため、新たな発想でのまちづくりを必要としており、市内大学と持続可能な地域の発展と大学の進化を共に目指すTown&Gownに取り組んでいる。

特に、広島大学とのTown&Gownでは、最先端の技術を取り入れながら新たなイノベーションを起こし、世界から起業家や研究者が集まる持続可能なまちづくりを目指している。

○こうした取組みは、全国的にも先駆的なものであり、考えに賛同いただいた多くの民間企業も参画した「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」を設置した。令和3年度に策定した「東広島市次世代学園都市構想」の実現に向け、世界からノウハウや投資を呼び込み、それを起点としたイノベーションを起こす仕組みの構築に取り組んでいる。

○海外からの優秀な人材を受け入れるため、居住環境の創出や先端技術の実証・実装に取り組んできた中、半導体産業の大型投資を取組みの加速要素と捉え、新たな市街地開発の形成等といった更なる成長の受け皿やインターナショナルスクールなどの教育環境の充実、交通渋滞を解消するための道路網の構築が必要となってきた。本市を起点として、広域的に取組みを展開するためにもDX、CN、産業など多岐に渡る分野で、国や県との連携を期待している。

○令和3年度に広島県事業「ゆとりと魅力ある居住環境の創出モデル事業」に採択され、令和6年度まで支援を受けている。

19 東広島市次世代学園都市構想の推進について

【期待する将来】

- 世界から起業家や研究者が集まるまち
- 新技術の社会実装と経済の好循環の実現
- ゆとりと魅力ある居住空間の実現
- 「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築

【展開エリア】



【推進母体】 広島大学スマートシティ共創コンソーシアム

【Town & Gown】

東広島市、広島大学

【民間企業】

住友商事、フジタ、ソフトバンク、三井住友信託銀行、中国電力、復建調査設計、ダイキン工業、サタケ、日産自動車、イズミ、ミサワ環境技術、大日本印刷、広島ガス、マイクロンメモリジャパン、葵会、住友電工 など

広島大学とその周辺エリアを中心に、最先端技術の実証や国内外から起業家や研究者が集まるイノベーション創造の仕組みを構築し、Well-being、SDGs、ポジティブピースの実現を目指す。

